



苗木領内図 (江戸中期)

秋冬の企画展

## 苗木領の村絵図

会期：10月12日(土)～令和7年1月26日(日)

会場：苗木遠山史料館 特別展示室

## 鉱物博物館

## 第42回私の展示室 まゆだまマーユの森あそび～秋冬ものがたり～

10月12日(土)から

蚕の繭から生まれたキャラクター「まゆだまマーユ」と中津川の自然を写真におさめました。

ファインダー越しに見える景色は、自分も森の妖精になったかのよう。草むらや森の中に腰を下ろすと、自然の面白さが無限に広がっています。マーユと一緒に森あそびのワクワクを感じてみましょう。

- 会 期／10月12日(土)～12月22日(日)
- 会 場／鉱物博物館 企画展示室
- 関連の催し  
ワークショップ「マユエナガ&木の実のバスケット作り」  
日 時／11月17日(日) 10:00～11:30 (当日受付、所要時間5～15分)  
定 員／20名(先着順)  
費 用／500円  
\*内容など詳しくは6ページをご参照ください。
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／11月3日(日・祝)



森の宝石みつけた！  
撮影地：中津川市阿木



キノコさんとお昼寝  
撮影地：中津川市阿木

(大林)

## 苗木遠山史料館

## 秋冬の企画展 苗木領の村絵図

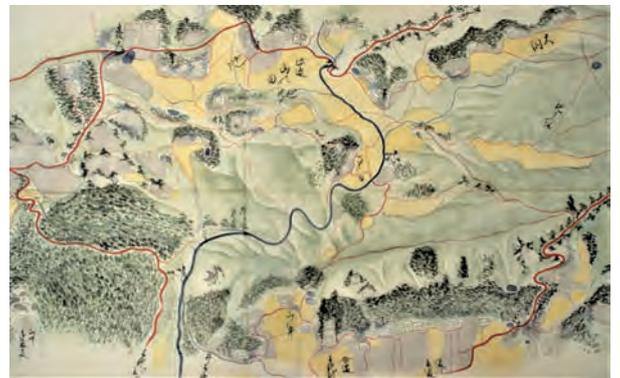
10月12日(土)から

江戸時代、1万石余りの領地を持っていた苗木遠山家が治めていた村は、恵那郡と加茂郡で38ヶ村ありました。

今回展示する主な資料は、村の庄屋が村内の道や川、神社や家の位置、また田や畑、山林の様子を書き入れ、明治初期、苗木藩庁(県庁)に差し出した絵図などです。1軒1軒描いている絵図もあれば、大まかに作成した絵図もありますが、当時の様子を知る上で貴重な資料です。

わたしたちの祖先がくらしした風景が描かれた絵図と、今の様子を比べながら、郷土の歴史とつながりを感じてください。

- 会 期／10月12日(土)～令和7年1月26日(日)
- 会 場／苗木遠山史料館 特別展示室〈2F〉



苗木山の田周辺絵図(明治初期)  
現在の苗木新谷・山の田・上地地区が描かれている

## 特別展示 郷土の名工 成瀬誠志 陽明門と鬼瓦

令和7年3月30日(日)まで

中津川市茄子川出身の名工・成瀬誠志の陶製「陽明門」と鬼瓦を展示します。

- 会 期／4月2日(火)～令和7年3月30日(日)
- 会 場／苗木遠山史料館 2階展示スペース
- 休館日／毎週月曜日(詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／11月3日(日・祝)



(浅井)

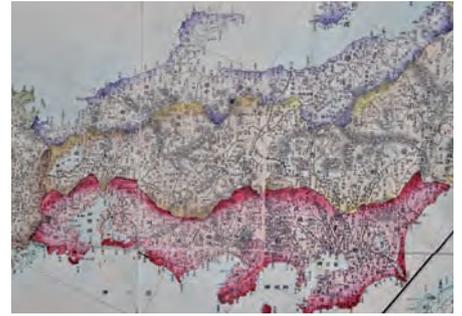
成瀬誠志作 鬼瓦

## 中山道歴史資料館

### 企画展 古代坂本郷の大屋根と大動脈 ～森林・河川・道の軌跡～

10月1日(火)から

古代(奈良時代)、美濃国恵奈郡坂本郷とよばれた中津川周辺を中心に、その大屋根ともいえる恵那山麓の治山や、大動脈となる木曾川・中津川・落合川・付知川等の河川の治水、東山道・中山道・飛騨街道・大平街道・清内路街道の道の発達や馬籠宿・落合宿・中津川宿等の宿場の発展等について、わかりやすく紹介します。



明治22年発行『大日本全図』(部分)  
(当館蔵)

- 会 期／10月1日(火)～令和7年3月30日(日)
- 会 場／中山道歴史資料館 第2展示室
- 休館日／毎週月曜日 (詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／10月6日(日)・11月3日(日・祝)  
12月1日(日)

(伊藤)

## 東山魁夷心の旅路館

### 第Ⅲ期展 秋景一森の装い

12月22日(日)まで

彩り豊かに色づく森の装いに華麗な生命の燃焼や静かな美しさを見出した魁夷。見頃を迎え絢爛豪華に彩る紅葉の景色や、冬の訪れを前にしての儂く過ぎてゆく秋の景色を描いた作品の数々をご覧ください。当館が所蔵する貴重な本画「秋宵」も展示いたします。

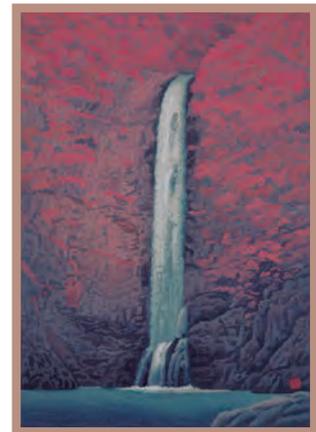
- 会 期／9月12日(木)～12月22日(日) ■会 場／東山魁夷心の旅路館
- 休館日／毎週水曜日 (詳しくは8ページをご参照ください)
- 入館無料日／11月3日(日・祝)



行く秋 (リトグラフ)



秋宵 (絹本彩色)



湍音 (木版画)

(入曽)

## 熊谷榎つけちギャラリー

### 特別展 熊谷守一と榎 一ふたりのまなざし

12月22日(日)まで

第13回熊谷守一大賞展の開催を記念して、ギャラリー始まって以来初となる、熊谷守一・榎による親子展を開催いたします。熊谷守一の商品からは、いきものや植物を描いた水墨画作品(版画)を、熊谷榎の商品からは、世界各地を登山し描いた油彩画を展示します。描く対象は異なるものの、二人の商品からはモチーフへの愛情や「いのち」への暖かいまなざしを感じとることができます。細やかな観察力で対象を描いた守一と、山岳地で生きる人々とその暮らしを描いた榎の、二人の視点を「まなざし」と題して作品を紹介いたします。



寒山拾得 (木版画)  
原画制作：1975年 熊谷守一



チチカ湖の浮島 (油彩)  
2006年 熊谷榎

- 会 期／8月30日(金)～12月22日(日)
- 会 場／熊谷榎つけちギャラリー
- 開館日／金・土・日および国民の祝休日
- 入館無料日／11月3日(日・祝)

(上田)

- 各教室・講座の申込方法など詳細は、各館のご案内をご参照ください。
- 各館の連絡先は8ページをご参照ください。



最新情報は各館にお問い合わせください。  
 中津川市の博物館WEBサイトでもお知らせします。  
 ※右の二次元コードを読み取ると、中津川市の博物館WEBサイトが表示できます。



中津川市の博物館WEBサイト

### 苗木遠山史料館

#### 古文書教室 史料館文書を読む

遠山家古文書を解説しながら、みんなで学びます。

■担当：調査員 加藤宣義

開催日	第7回 10/26(土) 第8回 11/23(土・祝) 第9回 12/21(土) 毎月第四土曜日(12月のみ第三土曜日)		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	20名	費用	年間1,000円
申込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具、くずし字用例辞典(貸出あり)		

#### 土曜講座

##### 第4回「苗木城の面白さと魅力」

遠山家家臣をめぐる歴史の流れは今も続いています。その流れを感じることでできる身近な出来事や、今回初めて紹介するエピソードを交えお話をします。

■講師：郷土史家 富田 務

開催日	10/12(土)		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	20名	費用	資料代 250円
申込	開催日まで随時受付、先着順		
その他	持物：筆記具		

#### 史料館調査報告

##### 第2回「維新を率い挫いた 青山直道」

最後の大名 遠山友<sup>ともよし</sup>禄は、明治維新で苗木を大変革・御一新しようと決意しました。それを先頭に立って推進したのが青山直道です。全国に先がけた藩政改革はいろいろ無理もあり、挫折、悔いが残るものとなりました。

■講師：調査員 千早保之

開催日	11/15(金)		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	20名	費用	資料代 250円
申込	開催日まで随時受付、先着順	その他	持物：筆記具

### 中山道歴史資料館

#### 文学講座 島崎藤村の『夜明け前』を味わうⅡ

木曾の文豪・島崎藤村の『夜明け前』を朗読しながら、わかりやすく解説していきます。

■講師：館長 西村友孝

開催日	第13回10/2(水)、第14回10/16(水)、第15回11/6(水) 第16回11/20(水)、第17回12/4(水)、第18回12/18(水) 毎月第一・第三水曜日		
時間	13:30~15:00	対象	一般
定員	14名	費用	1回 250円
申込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		
その他	持物：『夜明け前』第2部		

#### 歴史講座 明治の時代をひもとく

明治時代の歴史をわかりやすく読み解きます。

■講師：仁科吉介

開催日	第13回10/9(水)、第14回10/23(水)、第15回11/13(水) 第16回11/27(水)、第17回12/11(水)、第18回12/25(水) 毎月第二・第四水曜日		
時間	13:30~14:30	対象	一般
定員	14名	費用	1回 250円
申込	開催日の1週間前まで随時受付、先着順		

**光でオルゴールのようなメロディーが鳴る装置をつくろう**

光を使って音や音楽を伝えることができる装置をつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
10/12(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	300円	大井文高さん	締切 10/4

- 定員を超えた場合は抽選です。
- 抽選に当たった方には電話で連絡します。  
(不在の場合は、次の方が当選になることもあります。)
- 小学校3年生以下の参加には、大人の付き添いをお願いします。
- 費用は変更になる場合があります。

**ロープクライミングロボットをつくろう**

ロープをスイスイと登るロボットをつくります。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
11/9(土)	9:30~11:30	小学生以上	10名	1,000円	佐々木喜三夫さん	締切 11/1

**プラネタリウム クラフトキットをつくろう**

紙でプラネタリウムをつくり、科学館のドームに映して星座を楽しみます。

開催日	時間	対象	定員	費用	講師	申込
12/7(土)	9:30~11:30	小学生以上	12名	1,400円	大橋 弘さん	締切 11/29



プラネタリウム クラフトキットをつくろう

**子ども科学館  
ミニ科学  
工作まつり**

日時：11月3日(日・祝) 9:30~12:00

いろいろな科学工作や、ミニプラネタリウム上映、太陽望遠鏡による太陽観察、手作りホバークラフト試乗などをお楽しみいただけます。お子さん全員に手作りのおみやげをプレゼント。

- \*入館無料(終日) \*参加費無料
- \*催しは予定です。都合により変更する場合があります。
- \*11月2日(土)は準備のため、16時に閉館させていただきます。



**秋の星を観る会Ⅱ**  
~月と土星とアンドロメダ星雲を観よう~

半月、環のある土星、  
アンドロメダ星雲を  
天体望遠鏡で観察します。  
ペガサス座を中心に  
秋と夏の星座も観察します。  
紫金山・アトラス彗星も  
観えるかも?

日時 10月12日(土)  
18:30~20:00  
\*天候不良時は中止

場所 子ども科学館前集合  
講師 中津川市教員OB

定員 30名(先着)  
受付 9月8日(日) 9:30~  
\*参加費無料、どなたでも参加できます。  
(小学生以下は保護者同伴)

**秋の星を観る会Ⅲ**  
~月と土星と木星とすばるを観よう~

半月、環のある土星、縞模様  
のある木星、すばるを  
天体望遠鏡で観察します。  
ペガサス座を中心に  
秋から冬の星座も観察します。

日時 11月9日(土)  
18:30~20:00  
\*天候不良時は中止

場所 子ども科学館前集合  
講師 中津川市教員・教員OB

定員 30名(先着)  
受付 10月6日(日) 9:30~  
\*参加費無料、どなたでも参加できます。  
(小学生以下は保護者同伴)

**星空観察会 —ふたご座流星群と冬の星座—**  
鉱物博物館・子ども科学館共同企画

■日時 12月14日(土) 18:30~20:00  
■場所 鉱物博物館駐車場

\*詳しくは鉱物博物館の教室案内(6ページ)をご覧ください。

**石割体験** 友の会共催事業

恐竜が絶滅する前にできた石（みかげ石）をプロの道具で割ってみましょう。かたい石があなたの手でまっぴたつ！

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
11/3 (日・祝)	13:30~14:30	小学生以上	30名	無料	中根石材	当日受付 整理券配布	

**マユエナガ&木の実のバスケット作り**

繭で作った鳥（マユエナガ）を木の実と一緒に飾ったら可愛い秋のバスケットのできあがり♪  
マユエナガはあらかじめ作ってあるものを使いますので、5分ほどで完成です。  
もちろん、いちから自分でマユエナガを作ってもオッケー！

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
11/17(日)	10:00~11:30	どなたでも	20名	500円	松尾愛子さん	当日受付 先着順	

**森の木の実でリースづくり**

植物のツルを使ったリース飾りをつくります。木の実や葉っぱを飾りつければ、自分だけのリースのできあがり。  
自分でつくったリースを飾って、素敵なクリスマスを迎えましょう。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
11/24(日)	10:00~12:00	小4~大人	12名	500円	職 員	10/25~11/8 抽選	小3以下は保護者同伴で

**石のキャンドルづくり**

石でつくった容器にロウを流し込めば、素敵なキャンドルのできあがり。  
火を灯すと石をすかして暖かな光が広がります。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
12/8(日)	9:30~12:00	小5~大人	6名	1,000円	職 員	11/8~11/22 抽選	小4以下は保護者同伴で 持物：空の牛乳パック(1ℓ) エプロン

**星空観察会—ふたご座流星群と冬の星座** 鉱物博物館・子ども科学館共同企画

12月14日午前中に極大をむかえるふたご座流星群を観察します。この時期、最高に冴えわたる冬の星座を観たり、  
望遠鏡で満月・木星・オリオン大星雲などを観察します。鉱物博物館、子ども科学館どちらでもお申し込みいただけます。  
天候不良で中止の場合は、当日17時までに各館ウェブサイトでお知らせします。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
12/14(土)	18:30~20:00	親子	50名	無料	中津川市教員 OB	11/10~ 先着順	持物：懐中電灯、防寒具 天候不良の場合は中止

**ミニ門松づくり**

自分でつくった門松を飾って、お正月を迎えましょう。ミニといっても高さ1mほどの立派な門松です。

開催日	時 間	対 象	定員	費用	講 師	申 込	そ の 他
12/21(土) 12/22(日)	9:30~12:00	親子	各6組	1,500円	職員・友の会	11/22~12/6 抽選	持物：軍手、移植ゴテ



マユエナガ&木の実のバスケット作り



石のキャンドルづくり

## 苗木遠山史料館

えん ちやう かく

## 延眺閣で独り文筆する

苗木城内で一番の眺望といえば、馬洗岩の下側東に聳り立つ大岩「須磨明石」からだったようで、「ここに至れば恵那が嶽（恵那山）が眼前に高く見え、その他湯舟沢山々、川上山等が見え、分けても厳寒等には降り積もる雪、白妙に見えて一際の眺めである」（新田淳『苗木明細記』明治16年）という記述が残っています。

ただし、近くには武器蔵や勘定所土蔵など機密にすべき場所があり、一般の町人・百姓は大門から奥へは入れず、ここはとうてい入れぬ場所でした。しかし、藩主の日記には、時に「須磨明石へ行った」という記述があります。

須磨明石の大岩の下、帯曲輪にある物見小屋は役人（下級家臣）が詰めたので、彼らには物見小屋からの眺めが一番と言えたでしょう。勿論ここも百姓・町人は近寄れぬ場所でした。

11代遠山友寿と12代遠山友禄は、日記・和歌・稽古記録などを多く残しましたが、時に冊子の末尾に「延眺閣で記す」と附記しています。

これがどこなのかを探ってみて、おそらくここではないかという小部屋を見つけました。

今は本丸から鉄製の階段を登ると天守展望台に着きますが、往時はそこに階段はなく、正面が「千畳敷」と呼ばれる広い廊下の入口に当たりました。そこから真っ直ぐに入り少し進むと大廊下は南に折れ、そこにある木の梯子を登

ると天守の台所に至りました。

千畳敷の大廊下が南に折れる位置で左（東）に小部屋が突き出ています。ここが延眺閣ではないでしょうか。（展示模型で確認出来ます）

藩主は独りで物思いに耽ったり、集中して書写・文筆するときは邪魔の入らないこの場所に閉じ籠もっていたのではないのでしょうか。

この場所は今の天守の展望台のやや左前方の岩の上に位置し、ここならば最高に見晴らしがよく、「延眺閣」の名に相応しいと思えます。ただ、公式の詳しい絵図にはその一郭に名はありません。

藩主は、自分だけが最高の場を占有していることを家臣や民に憚ったのではないのでしょうか。



苗木城絵図（部分）  
『岐阜県史跡名勝天然記念物調査報告書 第4回』明治10年

（千早）

## 中山道歴史資料館

## 『日本後記 巻14』と『福澤桃介翁傳』

古文書『日本後紀 巻14』には、今から約1,200年前の大同元（806）年に、山城の国で乱伐による水の災害、堰堤崩壊などが発生し、諸国に過度な立木の伐採を禁ずる令が出されたことが記されています。また、山林保護のための三大原則（保護・監視・犯罪防止）を設けた時代もあり、これは現代のSDGsにも通じる政策と考えられます。全国の山々の森林は、それぞれの領主の管理に守られて、少なくともその大屋根は保たれていました。しかし、江戸時代の元和から寛永期（1624年～1644年）にかけて、幕府による国策繁栄のために多くの森林が乱伐され、木曾山の山林資源の枯渇を招きました。尾張藩は、寛文5（1665）年に山林の管理を山村甚兵衛から尾張藩直営の留山へ移管するなど、厳しい保護政策を実施しました。中津川地域でも、明治時代からは御料林問題などが発生し、人々にとって厳しい時代がありました。やがて時代は変わり、消費と保護のバランスが取られるようになり、中部山岳地帯の大屋根は辛うじて存続しました。森林は大気循環と水を生み、いくつかの支流に分かれた後、高低差の大きな木曾川を介して、膨大な資源（水・ミネラル・気流）を太平洋まで運んでいます。

やがて明治・大正の時代に入ると、産業の推進が図られ、技術革新とともに国力繁栄のための電力開発が必至となり、政府と経済界、官民一体の国家事業に発展する事となりました。かねてより、ヨーロッパでの水力発電の長距離送電成功例を認知していた福澤桃介は、究極の持続性資源循環を果たしている御嶽山山麓や中央アルプスの水資源を集める木曾川のエネルギーを活用することを考えました。福澤の試算では、木曾川水系だけで50万馬力（発電量にして37万kw）、他の飛騨川・益田川など御嶽山水系を全部合わせると100万kwを優に超えるエネルギー量でした。そしてその数値は、平成の時代に更に更新されました。

福澤の手がけた多くの水力発電所は、この地方から関西方面までの産業・経済を支えてきました。近年、持続可能なエネルギー政策が叫ばれるなか、その水力利用の推進は究極のSDGsともいえるのではないのでしょうか。

この地方の大屋根・森林・治山治水等を支えてきた先人たちの知恵に敬意を持ち、そこから多くを学び取りたいものです。



『福澤桃介翁傳』（個人蔵）

（伊藤）

文化の日入館無料デーのご案内

中津川市の博物館では、11月3日(日・文化の日)の入館を無料とします。対象施設は、苗木遠山史料館・中山道歴史資料館・子ども科学館・鉱物博物館・東山魁夷心の旅路館・熊谷榎つけちギャラリーの6館です。各館で催しも予定しています。

■苗木遠山史料館

クイズラリー、ぬり絵  
琴演奏 など



■中山道歴史資料館

歴史クイズラリー  
第4回蓄音機鑑賞会



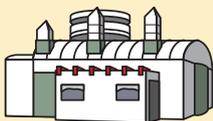
■鉱物博物館

ジェムストーンさがし  
石割体験、水晶さがし など



■子ども科学館

ミニ科学工作まつり(午前中)  
ミニプラネタリウム上映  
お子さん全員に手作りの  
おみやげプレゼント



■東山魁夷心の旅路館

先着30名様に  
ポスタープレゼント



\*催しは予定です。

\*催しの中には有料のものや開催時間の限られているものが  
ございますので、詳しくは各館にお問い合わせください。



鉱物博物館

ミュージアムフェスタ2024を開催しました

鉱物博物館では、7月28日(日)に「ミュージアムフェスタ2024」を開催しました。

クイズラリー、手づくりアクセサリー、ジェムストーンさがし、木かげの絵本ひろばなどのコーナーを開催しました。鉱物販売や飲食のお店も出店し、こちらも賑わっていました。

とても暑い夏の日でしたが、たくさんの方に会場いただきました。



ジェムストーンさがし

寄贈を受けました 2024年6月～8月受贈分

中山道歴史資料館

大橋 康夫 様 古文書2点

鉱物博物館

田口 憲一 様 岩石標本4点

西尾 文雄 様 鉱物標本一式

新川 教 様 鉱物標本一式

ありがとうございました。

休館日

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

□ 東山魁夷心の旅路館休館日

■ その他4館の休館日 ※子ども科学館のみ11月2日(土)は16:00閉館

熊谷榎つけちギャラリーは金・土・日および国民の祝休日のみ開館

\*年末年休館日のお知らせ 12月26日(木)から1月5日(日)まで全館休館

中津川市博物館

夜明けの森きらめきパーク  
中津川市鉱物博物館

〒508-0101 中津川市苗木639番地の15  
JR中津川駅からバス「夜明けの森」下車徒歩約40分  
FAX 0573-67-2191

☎ 0573-67-2110 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/m/>

わくわくドーム  
中津川市子ども科学館

〒508-0011 中津川市駒場1657番地の1  
JR中津川駅から徒歩約20分  
FAX 0573-66-9171

☎ 0573-66-9090 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/s/>

苗木城跡歴史の広場  
中津川市苗木遠山史料館

〒508-0101 中津川市苗木2897番地の2  
JR中津川駅からバス「苗木」下車徒歩約20分  
FAX 0573-66-9290

☎ 0573-66-8181 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/t/>

中津川宿を中心とした歴史の旅

中津川市中山道歴史資料館

〒508-0041 中津川市本町2丁目2番21号  
JR中津川駅から徒歩約10分  
FAX 0573-66-7021

☎ 0573-66-6888 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/n/>

木谷谷に抱かれた美術館

中津川市東山魁夷心の旅路館

〒508-0501 中津川市山口1番地15  
中央自動車道「中津川IC」から車で約25分「道の駅隣母内」  
FAX 0573-75-5225

☎ 0573-75-5222 <https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/museum/k/>

山と青川の小さな美術館

熊谷榎つけちギャラリー

〒508-0351 中津川市付知町4956番地の52  
(アートピア付知交芸プラザ内)  
中央自動車道「中津川IC」から車で約40分

☎ 0573-82-4911 <http://www.kaya-kumagai.jp>